

CCGS ロウ校長8年ぶりに来校



10月5日(木)に本校姉妹校のオーストラリアCCGS(セントラルコースト・グラマースクール)のウィリアム・ロウ校長が来校し、体育館で歓迎集会が行われた。CCGSとは長い交流の歴史の中で良好な関係を築き続けている。歓迎集会では本校の佐藤純也校長、水野一成理事長が挨拶を行い、国際教育係の山口裕恵先生が通訳を務めた。ロウ校長は今年12月で退職する。(金井 茉優)



歓迎集会で生徒会太鼓を鑑賞するロウ校長(写真中央)と水野理事長(写真左)、山口裕恵先生(写真右)

第108号
発行
2023年
10月31日(火)
校会
高委員
西委員
田委員
上新編
編集局長: 田村 さくら
新聞委員長: 金井 茉優
大田すみれ
佐藤 雪路
レイアウト: 田村さくら

水野理事長「友情の記念と感謝の気持ち」表す絵画贈呈



米津氏の絵画を手に記念撮影を行うロウ校長と水野理事長

上田西高校とCCGSでは1995年に姉妹校提携文書を結んでから現在まで毎年多くの生徒が交換留学を行なっている。水野理事長は「安心して送り出せる留学先に恵まれているのは有難い。それはCCGSも同様でロウ校長は海外留学をするならまず日本に行くようにと生徒に薦めるほど日本に対し安心感と親近感を抱いていた。



歓迎集会で挨拶するロウ校長と通訳の山口裕先生

全校で歓迎集会を開催

姉妹校CCGSのロウ校長が8年ぶりに来校し、全校で歓迎集会が行われた。まずは、生徒会役員が太鼓の演奏を披露。その後佐藤校長が全校を代表して歓迎の言葉

「相変わらず朗らかな人で元気で安心した。会っている」と話した。ロウ校長とは8年ぶりの再会となったが、米津氏は日本の中心的画壇・二紀会の参与として活躍し、県内においては信州美術会会長として長野県美術会をリードしている。水野理事長は「坂道の街並

ていない時でもクリスマスカードを送りあったり、家族ぐるみで仲良くしている」と話した。また、ロウ校長が12月で退職されるというので友情の記念と感謝の気持ちを込めて「Fの街」という絵画を贈った。

この絵画は水野理事長の知人であり上田市出身、在住の画家米津福祐氏によるもの。米津氏は日本の中心的画壇・二紀会の参与として活躍し、県内においては信州美術会会長として長野県美術会をリードしている。水野理事長は「坂道の街並

み深い色合いと逆さ霧のような遠景の白の対比から、河岸段丘にひらけ脈々と続いた上田市の歴史と明るい未来への希望を感じた。この絵を見て上田市や上田西高校を思い出しても「田村さくら」と話した。

最後に西高生に対して「留学に迷っていたらぜひ挑戦して欲しい。一歩踏み出すことを怖がらないで」とメッセージを送った。(大田すみれ)



集会後、取材に応じるロウ校長

教員生活を振り返って

退職するロウ校長は大きな節目に西高を訪れることができたことに喜びを表した。教員生活の中で最も印象深かったことは、毎年生徒主催で行われるミュージカルを見ることだそう。生徒達が積極的に参加し、成長していく姿を沢山見てパワーをもらった」と振り返った。また、多くの人と関わり意見交換をしながら日本について学べたことに感謝の気持ちを表した。特に日本の

得られることは両校にとって貴重な経験になる」と語った。また、退職してからもよりよい関係性を継続するために全力を注ぐことを伝えた。水野理事長はこれまでの交流を記念して絵画を贈った。(金井 茉優)

8名の留学生が西高へ コロナ禍も落ち着き本格的に留学再開

- ①名前 ②学年 ③趣味
- ④好きな日本食 ⑤西高の印象
- ⑥ホームルームクラス
- ⑦日本で楽しかった事
- ⑧これから日本でしたい事



①オースティン
②高校1年生③バスケ④ラーメン
⑤優しくて歓迎してくれる⑥2年1組⑦忍者村、ウォーキング、バレーボール⑧スポーツをやりたい



①リオ
②高校1年生③乗馬④うどん⑤みんな優しくていい学校⑥2年7組⑦ハイキング⑧日本語の向上、もっと友達を作る



①オーデン
②高校1年生③ロッククライミング④すし、ラーメン⑤とてもいい学校⑥1年1組⑦ハイキング、温泉、忍者村⑧京都に行く



①カリス
②高校1年生③水泳、音楽を聴く④唐揚げ⑤歓迎してくれる⑥2年7組⑦親切な友達を作った⑧色々な食べ物を食べる、観光地を見る



①リリー
②高校1年生③歌うこと④お好み焼き⑤親しみやすく、歓迎してくれる⑥2年7組⑦美味しいものを食べた⑧もっと思い出を作る



①エリー
②高校1年生③音楽を聴くこと④おにぎり⑤親切⑥2年7組⑦友達との会話、買い物⑧もっと友達を作る、綺麗な景色を見る



①マーカス
②高校1年生③バスケット、ラグビー、音楽を聴くこと④そば⑤英語が上手、親切⑥2年2組⑦東京で野球観戦⑧富士山に登る



①ライリー
②高校1年生③サーフィン④ラーメン⑤綺麗で秩序がある⑥2年7組⑦新しい友達を作った⑧たくさん友達と過ごす

「コラム」「ホストファミリーで異文化理解」
 現在8名の留学生が上田西高校に訪れているが、彼らのホストファミリーについては受け入れが難航したという。多くの生徒が「受け入れたいがコミュニケーションについて不安が大きい」と話した。しかし、実際にホストファミリーを受け入れている生徒からは「英単語を並べるだけで会話は成り立つので不安はない」という話が聞かれた。「受け入れることで自分の英語力、コミュニケーション能力が上がり、異文化に触れられるしとても楽しいので迷っていたら是非受け入れてみてほしい」とのこと。
 ホストファミリーを受け入れることはハードルが高いかもしれないが、異文化理解にはもってこい。勇気を持って一歩踏み出すことで新しい世界が見えてくる。
 (佐藤 雪路)